

名前：上野原12号墳

所在地：下野市谷地質（南河内地内）

時代：古墳後期（6世紀後半）

形：円墳（墳丘消滅のため推定）

大きさ：全長約30m（半分だけ調査）



第68図 上野原12号墳の遺構図



- 出土品：武器・・・直刀・刀子（鉄製のナイフ）・  
鉄族（鉄製矢じり）  
馬具・・・轡（馬の口にはめてたずなをつける）  
辻金具（皮ひもを止める部品）・鐙  
（足をかける部分）  
工具・・・刀子・ピンセット状の鉄製品



第80図 上野原12号墳の石室  
（上—東から、下—南から）

その他：墳丘は畑を作った時に無くなっている。  
埋葬施設（遺体を埋めたところ）は残っており、  
河原石を積んだ小型の竪穴式石室でした。  
ドロボーに荒らされておらず、このお墓ができた時の  
状態で発見された貴重な調査です。



第86図 上野原12号墳出土の武器  
（右—鐙、左—把縁金具）

上の写真は刀のツバの写真です。



第87図 上野原12号墳出土の武器  
（上—鉄鐙、中—刀子、下—ピンセット）